



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE iLO のライセンスキーのインストール手順

## 摘要

このガイドでは、HPE iLO ライセンスキーのインストールに関する情報を提供します。

部品番号: P00305-192  
発行: 2017 年 9 月  
版数: 1

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。Hewlett Packard Enterprise は本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から許諾を得る必要があります。米国政府の連邦調達規則である FAR 12.211 および 12.212 の規定に従って、コマーシャルコンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーションおよびコマーシャルアイテムのテクニカルデータ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダーが提供する標準使用許諾規定に基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクを使用すると、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト外に移動します。Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報は Hewlett Packard Enterprise の管理対象外であり、それらの情報について責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標

Intel<sup>®</sup>、インテル、Itanium<sup>®</sup>、Pentium<sup>®</sup>、Intel Inside<sup>®</sup>、および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup> および Windows<sup>®</sup> は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe<sup>®</sup> および Acrobat<sup>®</sup> は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java<sup>®</sup> および Oracle<sup>®</sup> は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX<sup>®</sup> は、The Open Group の登録商標です。

# 目次

<b>HPE iLO のライセンスキーのインストール手順</b> .....	<b>4</b>
ライセンスのインストール方法 .....	4
前提条件.....	4
ブラウザを使用して iLO で 25 桁の英数字ライセンスキー（別名 5x5 キー）を入力する .....	4
XML スクリプティングの使用 .....	5
推奨手順：HPQLOCFG（HP Lights-Out 設定ユーティリティ）を使用して 1 つのライセンスをインストールする .....	6
HP Lights-Out オンライン設定ユーティリティ（HPONCFG）または Lights-Out 設定ユーティリティ（HPQLOCFG）を使用して 1 つのライセンスをインストールする .....	8
iLO CLI の使用.....	8
RESTful インターフェイスツールの使用.....	9
iLO 連携グループライセンスの使用 .....	9
ライセンスのインストールの確認 .....	10
<b>Web サイト</b> .....	<b>11</b>
<b>サポートと他のリソース</b> .....	<b>12</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	12
アップデートへのアクセス.....	12
カスタマーセルフリペア（CSR） .....	13
リモートサポート（HPE 通報サービス） .....	13
保証情報.....	13
規定に関する情報.....	14
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	14

# HPE iLO のライセンスキーのインストール手順

## ライセンスのインストール方法

ライセンスは、以下のいずれかの方法でインストールできます。

- ブラウザを使用して iLO で 25 桁の英数字ライセンスキー（別名 5x5 キー）を入力する
- XML スクリプティングの使用
- iLO CLI の使用
- RESTful API の使用
- iLO 連携グループライセンスの使用

## 前提条件

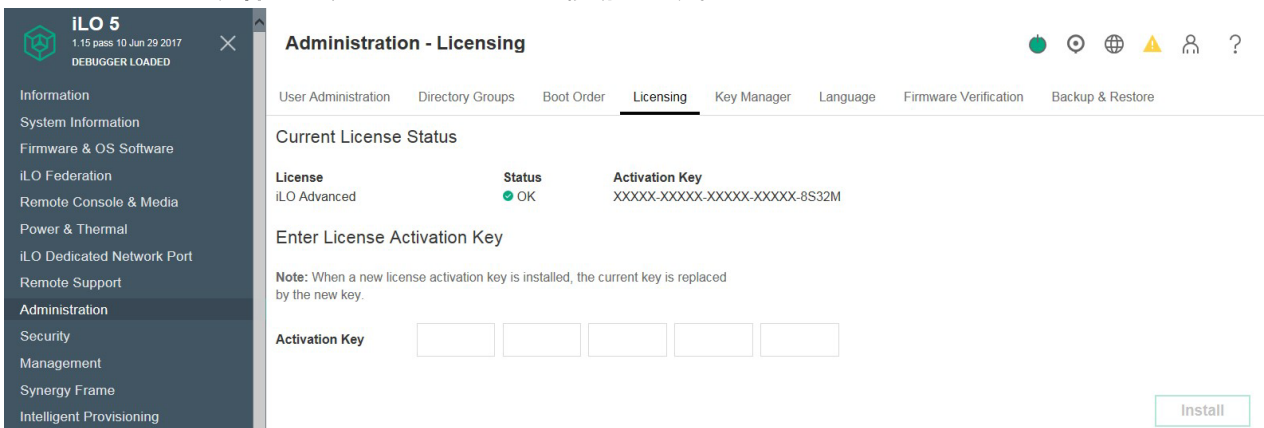
### 手順

- iLO 設定権限の構成
- ライセンスアクティベーションキー
- ライセンスは、そのライセンスをインストールするサーバーでサポートされます。

## ブラウザを使用して iLO で 25 桁の英数字ライセンスキー（別名 5x5 キー）を入力する

### 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. iLO にログインし、**管理 > ライセンス**ページに移動します。



### 重要:

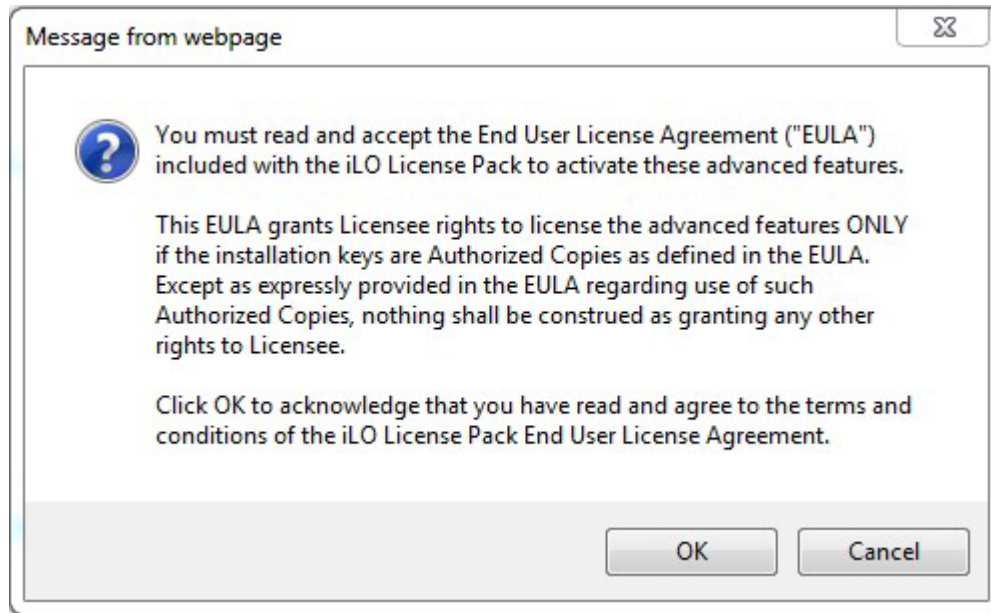
このウィンドウにアクティベーションキーを入力すると、それ以降は最後の 5 桁のみが表示されず、ここに入力する前に、ライセンスキーを記録して別の場所に保存してください。

3. ライセンスページで、アクティベーションキーボックスにライセンスキーを入力します。

セグメント間を移動するには、**Tab** キーを押すか、アクティベーションキーボックスのセグメントの内側をクリックします。アクティベーションキーボックスのセグメントにデータを入力すると、カーソルは自動的に次に進みます。

4. インストールをクリックします。

EULA 確認ページが表示されます。



5. EULA 確認の詳細を確認し、**OK** をクリックします。

## XML スクリプティングの使用

XML コマンドと高度なスクリプティングインターフェイスを使用してライセンスをインストールすることができます。この方法は、大規模なサーバー配備の一環としてライセンスキーを展開する場合に便利です。スクリプトは、RIBCL と呼ぶスクリプティング言語用に記述された XML ファイルです。以下の方法を使用できます。

- **推奨方法** : HPQLOCFG (HP Lights-Out 設定ユーティリティ) - 以前の HP Lights-Out 設定ユーティリティ (CPQLOCFG) に代わるユーティリティです。このユーティリティは、XML 構成スクリプトと制御スクリプトをネットワーク経由で iLO に送信する Windows コマンドラインユーティリティです。

### 注記:

HPQLOCFG (HP Lights-Out 設定ユーティリティ) には、CPQLOCFG ユーティリティと同じコマンドフォーマットがあります。

- HPONCFG (HP Lights-Out オンライン設定ユーティリティ) - ホスト上で実行され、RIBCL スクリプトをローカルの iLO に転送する、ローカルでのオンラインのスクリプトによるセットアップユーティリティです。このユーティリティには、HPE ProLiant iLO 3 または 4 チャネルインターフェイスドライバーが必要です。
- LOCFG (Lights-Out 設定ユーティリティ) - ネットワーク経由で RIBCL スクリプトを iLO に送信するために使用できる Perl サンプルを含むカスタム iLO スクリプティング環境です。

---

#### 注記:

HPONCFG ユーティリティと LOCFG ユーティリティはサーバー上で実行されるため、これらのユーティリティを使用する場合は、サーバーの IP アドレス、FQDN、またはログイン認証情報を入力する必要はありません。単一サーバーライセンスをインストールするためのその他のコマンドは、すべてのユーティリティで同じです。

---

詳しくは、以下を参照してください。

- [HPE iLO 4 スクリプティング/コマンドラインガイド](#)
- [スクリプティング機能を介して iLO ライセンスキーをインストールする方法](#)

#### サンプルライセンス XML スクリプト

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN PASSWORD="password" USER_LOGIN="adminname">

    <RIB_INFO MODE="write">
      <LICENSE>
        <ACTIVATE KEY="11223-34455-66778-89900-AABBC"/>
      </LICENSE>

    </RIB_INFO>
  </LOGIN>
</RIBCL>
```

#### サンプルライセンス JSON スクリプト

```
{
  "body": {
    "LicenseKey": "XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX"
  },
  "path": "/rest/v1/managers/1/LicenseService"
}
```

## 推奨手順 : HPQLOCFG (HP Lights-Out 設定ユーティリティ) を使用して 1 つのライセンスをインストールする

### 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. <http://www.hpe.com/support/ilo4> にアクセスし、最新のユーティリティをダウンロードします。
3. ユーティリティがインストールされているフォルダーを見つけます。
4. `License.xml` ファイルをユーティリティと同じフォルダーに移動します。
5. コマンドプロンプトを開き、ユーティリティと XML ファイルが格納されているフォルダーに移動し、XML ファイルを開きます。
6. 次のいずれかを実行します。

- 汎用スクリプトを変更せずに実行するには、次のように実行します。

```
UtilityName.exe -s IPAddress/fqdn -f xmlFileName.xml -l logfile.txt -u username -p password -t KEY="KEY"
```

#### 例

```
hpqlcfg.exe -s mydl360server.mydomain.com -f License.xml -l mylogfile.txt -u adminaccount -p myadminpass123 -t KEY="abcde-fghij-klmno-pqrst-uvwxy"
```

- License.xml ファイルを変更するには、次のように実行します。

- a. ライセンスをインストールするシステムのログイン情報を入力します。

```
例: <LOGIN PASSWORD="myAdminPass123"\6 USER_LOGIN="adminAccount">
```

- b. 購入したライセンスキーを入力します。

```
<ACTIVATE KEY="abcde-fghij-klmno-pqrst-uvwxy"/>
```

- c. ファイルに加えた変更を保存し、次のように実行します。冗長（詳細）な出力を指定するには、`-v` タグを追加します。

```
UtilityName.exe -s IPAddress/fqdn -f xmlFileName.xml -l logfile.txt -v
```

#### 例

```
hpqlcfg.exe -s mydl360server.mydomain.com -f License.xml -l mylogfile.txt -v
```

#### サンプル出力

非冗長形式のコマンドが成功すると、出力は表示されません。

冗長出力は以下のようになります。

```
<?xml version="1.0"?>
<RIBCL VERSION="2.23">
```

```
<RESPONSE
  STATUS="0x0000"

  MESSAGE='No error'
/>
</RIBCL>
```

```
<?xml version="1.0"?>
<RIBCL VERSION="2.23">
```

```
<RESPONSE
  STATUS="0x0000"

  MESSAGE='No error'
/>
</RIBCL>
```

# HP Lights-Out オンライン設定ユーティリティ (HPONCFG) または Lights-Out 設定ユーティリティ (HPQLOCFG) を使用して 1 つのライセンスをインストールする

## 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. <http://www.hpe.com/support/ilo4> にアクセスし、最新のユーティリティをダウンロードします。
3. ユーティリティがインストールされたフォルダーを探します。
4. License.xml ファイルをユーティリティと同じフォルダーに移動します。
5. コマンドプロンプトを開き、ユーティリティと XML ファイルが格納されているフォルダーに移動し、XML ファイルを開きます。
6. コマンドプロンプトで、次のいずれかを実行します。

- 汎用スクリプトを変更せずに実行するには :

```
UtilityName.exe -f xmlFileName.xml -l logfile.txt
```

### 例

```
hponcfg.exe -f License.xml -l mylogfile.txt
```

- License.xml ファイルを変更するには :

- a. 購入したライセンスキーを入力します。

```
<ACTIVATE KEY="abcde-fghij-klmno-pqrst-uvwxy"/>
```

- b. ファイルに加えた変更を保存し、次のように実行します。詳細な出力を指定するには、`-v` タグを追加します。

```
UtilityName.exe -f xmlFileName.xml -l logfile.txt
```

### 例

```
hponcfg.exe -f License.xml -l mylogfile.txt
```

## iLO CLI の使用

### 手順

1. PuTTY などの SSH クライアントアプリケーションで接続を開きます。
2. SSH ポートは **22**、**接続タイプ** は **SSH** のままにします。
3. ログインプロンプトで、ユーザー名とパスワードを入力します。  
hpiLO->プロンプトが表示されます。
4. ライセンスページに移動するには、`cd map1/ oemhp _ license1` と入力し、次に `show` と入力します。  
ライセンスタイプ (`oemhp _ name1`)、およびセキュリティ上の理由から部分的に編集されたライセンスキーなどのライセンス情報が表示されます。
5. ライセンスを追加するには、`KEY` を次のコマンドで 5x5 のライセンスキーに置き換えます。



```
oemhp_licenseinstall KEY
```

ライセンスキーを入力するための有効なフォーマットは次のとおりです。

- oemhp\_licenseinstall "AAAAA-BBBBB-CCCCC-DDDDD-EEEE"
- oemhp\_licenseinstall AAAAA-BBBBB-CCCCC-DDDDD-EEEE
- oemhp\_licenseinstall AAAAABBBBBCCCCDDDDDEEEEE
- oemhp\_licenseinstall "AAAAABBBBBCCCCDDDDDEEEEE"

次のような出力が表示されます。

- status=0
- status\_tag=COMMAND COMPLETED
- New license key installed

## RESTful インターフェイスツールの使用

### 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. RESTful Interface Tool (Windows MSI パッケージ、または Linux RPM パッケージ) を <https://hewlettpackard.github.io/python-redfish-utility/> からダウンロードします。
3. インストールするユーティリティを指定したフォルダーを見つけます。
4. `license.json` ファイルをユーティリティと同じフォルダーに移動します。
5. コマンドプロンプトを開き、ユーティリティと JSON ファイルが格納されているフォルダーに移動し、JSON ファイルを開きます。
6. デフォルトの (無効な) ライセンスキーを有効なキーに置き換えます。
7. ファイルに加えた変更を保存し、次のように RESTful コマンドを実行します。

```
ilorest.exe rawpost license.json --url mydl360server.mydomain.com -u  
adminaccount -p myadminpass123
```

8. コマンドが成功すると、`The resource has been created successfully` というメッセージが表示されます。

詳しくは、[RESTful API を使用した Hewlett Packard Enterprise サーバー管理](#)を参照してください。

## iLO 連携グループライセンスの使用

ライセンスされている機能である iLO 連携を使用して、iLO ライセンスキーを管理することができます。iLO 連携グループライセンスページには、iLO 連携グループメンバーのライセンスステータスが表示され、グループライセンスページを使用して、構成されたグループ内で iLO のライセンス機能を有効にすることができます。

次のシナリオで iLO 連携グループライセンス機能を使用してライセンスをインストールする場合は、次の点を考慮してください。

- iLO 連携グループのサーバー上で、グループの各メンバーが、**iLO 設定の構成権限**を持っている必要があります。
- 複数のサーバー上で、選択したサーバーの数に対して認証されているキーを使用する必要があります。
- すでにキーがインストールされているサーバー上では、現在のキーは新しいキーに置き換えられます。既存のライセンスを置き換えたくない場合は、ライセンス情報ステータス表の **Unlicensed** をクリックして、ライセンスが適用されていないサーバーにのみライセンスをインストールします。

詳しくは、[HPE iLO 連携ユーザーガイド](#)を参照してください。

## ライセンスのインストールの確認

√	確認：
	インストールエラーメッセージが表示されません。
	インストールされているライセンスに関する情報が表示されます。

# Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<http://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<http://www.hpe.com/storage/whitepapers>

その他の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

**Hewlett Packard Enterprise サポートセンター**

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

**Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード**

<http://www.hpe.com/support/downloads>

**Software Depot**

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

❗ **重要:**

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

### リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

#### HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

#### HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

#### HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

#### HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

## 保証情報

ご使用の製品の保証またはサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報に関するドキュメントを確認するには、「エンタープライズの安全性、規制への適合」の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

### 追加保証情報

#### HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

#### HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

#### HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

#### HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

### 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。